※令和４年度以降入学生用

学校番号	220

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学) ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰﾋﾟｱﾉ入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日頃よく耳にする、ピアノ曲、または、ピアノ用にアレンジされた楽曲の演奏に取り組んだり、演奏の映像などに触れる活動を通じて、ピアノ（基本的な奏法や表現形態の理解と表現の創意工夫）、鑑賞（音楽の様々な表現上の効果、美しさを自ら味わう）の２つの分野について学習します。主体的、協働的に取り組み、音楽的な見方、考え方を働かせることで、豊かな感性を磨いてください。

２　学習の到達目標

（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
（３）主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想を音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、ピアノで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ピアノの奏法を身に付け、奏法による違いを理解しよう。	【ピアノ課題曲】 ハイホー ホール・ニュー・ワールド 小さな世界	a:・曲想とピアノの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、ピアノの奏法、基本的な体の使い方を身に付けている。 b:旋律やコード進行にかかわる知識や技能を得たり、意識しながら、それらの関りを知覚し、自己のイメージをもってピアノ表現を創意工夫している。 c:楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に練習方法を創意工夫して、学習活動に取り組もうとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート
	ピアノ表現の実際を知ろう。	【鑑賞】 今、注目の ピアニスト	a:音楽の様々な要素と楽曲の特徴を理解している。 b: 音楽を形づくっている要素が、表現するために、どのように関わっているのかを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関りについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聞いている。 c:音楽の様々な要素とピアノ以外の楽器との調和についての理解や演奏に対する評価に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	ピアノの奏法を身に付け、奏法による違いを理解しよう。	【ピアノ課題曲】 輝く未来 彼こそが海賊	a:・曲想とピアノの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、ピアノの奏法、基本的な体の使い方を身に付けている。 b:旋律やコード進行にかかわる知識や技能を得たり、意識しながら、それらの関りを知覚し、自己のイメージをもってピアノ表現を創意工夫している。 c:楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に練習方法を創意工夫して、学習活動に取り組もうとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート
	伴奏音型やリズムなどを変化させて変奏しよう。	【アレンジ課題】 星に願いを ビビディ・ バビディ・ブー	a:・曲想とリズム、音型、奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かしたピアノ表現をするために必要な、楽典の知識や編曲の技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっているリズムやコードとその伴奏パターンとの関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこと感受したこととの関りについて考え、自己のイメージをもってピアノ表現を創意工夫している。 c: 音楽を形づくっているリズム、拍子、伴奏の音型、と編曲との関わりに関心をもち、主体的・協働的にピアノの学習活動に取り組もうとしている。	パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	プロのピアニストの演奏を参考にして ピアノ表現のイメージを広げよう。	【鑑賞】 今、注目の ピアニスト②	a:音楽の様々な要素と楽曲の特徴を理解している。 b: 音楽を形づくっている要素が、表現するために、どのように関わっているのかを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関りについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聞いている。 c:音楽の様々な要素とピアノ以外の楽器との調和についての理解や演奏に対する評価に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	授業観察 ワークシート
三学期	ピアノ演奏を通じて、表現の意図を伝えよう。	【ピアノ発表会】 各自、選択曲	a:・曲想とピアノの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、ピアノの奏法、基本的な体の使い方を身に付けている。 b:旋律やコード進行にかかわる知識や技能を得たり、意識しながら、それらの関りを知覚し、自己のイメージをもってピアノ表現を創意工夫している。 c:楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に楽曲を選び、練習方法を創意工夫して、学習活動に取り組もうとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	プロのピアニストが演奏する様々な表現スタイルを比べてみよう。	【鑑賞】 今、注目の ピアニスト③	a:音楽の様々な要素と楽曲の特徴を理解している。 b: 音楽を形づくっている要素が、表現するために、どのように関わっているのかを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関りについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聞いている。 c:音楽の様々な要素と演奏に対する評価に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度